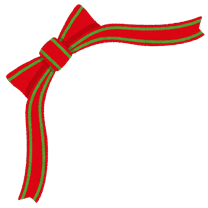
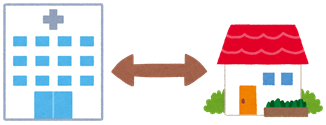
****

**愛あいニュース12月号**

**在宅リハビリ強化型　訪問看護リハビリステーション愛あい**

****

**＜****医療介護複合ニーズの変化について＞**

現在、急性期・回復期の在院日数短縮と在宅医療の推進から、在宅での亜急性期の対象者が増加しています。今までのように、急性期⇒回復期（リハ）⇒在宅での生活期という流れではなく、最近は急性期⇒在宅で亜急性期～生活期という直接の流れ（または往復）が増えています。原因疾患として、高齢者に多い呼吸器・循環器などの内部疾患があげられます。当事業所は、看護師とリハビリ職が、連携しアセスメントを図った上で、下記サービスを提供してまいりました。

職種と利用回数、疾患ごとの例をあげると、

**1．リハビリ職優先、看護師評価（骨折や脳卒中の方が多い。在宅ADL・IADL、機能回復、活動・参加レベル向上、福祉用具や住宅改修など環境整備）**

→リハビリを2～3回/週実施し、ご自宅での動作能力確立を目指す。看護師は1回/月程度、定期的に評価を行う。

**2．看護師、リハビリ職併用（重症、ターミナル、神経難病など）**

→医療依存度や重症度によって、看護師とリハビリ職の利用回数が変動する。

**3．看護師優先、リハビリ職補助（循環器、呼吸器、糖尿病など内部疾患）**

→看護師の栄養指導、内服指導を基に、リハビリ職がバイタルサインを測定しながら、負担の少ない運動指導やADL指導、呼吸リハなどを行う。病状によるが最初は看護師の利用回数が多い方が良い。

**４．看護師優先（褥瘡、点滴など医療的処置が必要）**

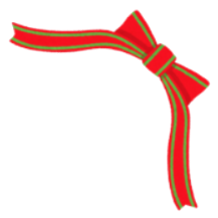
**５．精神科訪問看護、小児への訪問看護**

などがあります。

当事業所では上記１・２が多いですが、今後上記３がさらに増える可能性が高いと言われています。退院直後の亜急性期から、自立支援を目指し、重度化防止のためにはケアマネジャーを中心とした医療介護の連携が重要です。上記3の方は廃用性の心身機能低下を起こしやすいため、早期介入が重要です。利用者様が退院した直後、または一時的なレベル低下があった場合、通所系サービス、ヘルパー以外に訪問看護も検討してはいかがでしょうか？

**＜年末年始の稼働について＞**

12月30日（木）～1月3日（月）はお休みとさせていただきます。利用者様の状態により、対応させていただきますので、ご不明な点は事業所までご連絡ください。

****　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　

正看護師　 ：3名

准看護士　 ：1名

作業療法士 ：2名

理学療法士 ：1名

(2021年12月現在)

【発行元】

**24hs 緊急対応可！**【事業所番号：0262790132】

**在宅リハビリ強化型 訪問看護リハビリステーション愛あい**

**TEL：0178-51-9553　FAX：0178-51-9554**

営業時間：平日　8:30～17:30（休日：土日）〒039-1526　五戸町字下長下タ91-8